

改憲を巡る最近の動き！

憲法第96条

戦争放棄
第9条

基本的人権

思想、良心の自由

集会・結社
表現の自由

生存権

？

ここに来て何故かのトーンダウン、その理由は？

アメリカ議会調査局の日米関係に関する報告書が出て「安倍首相の歴史認識はアメリカの国益を損なう」と指摘されたことによるものと思われる。この中で安倍は「ストロング・ナショナリスト（強固な国粹主義者）」とストレートにいられているらしい。これも身から出たさびと言えればそれまでか。

これらは安倍首相の「村山談話」をそのまま継承しない、「侵略の定義は定まっていない」等の一連の発言や、麻生副総理などの靖国参拝に韓国をはじめとしたアジア各国の批判が高まった事によるものといえる。

しかしである。テレビ朝日のコメンテーターの川村氏によれば、

改憲にかける安倍首相の熱意は筋金入りです。96条の先行改正明記の取りやめが首相の本意であるはずがなく、あまりにも評判が悪いので、いったん引っ込めただけのこと。ムリに96条改正を参院選の争点にしなくても、アベノミクス効果で支持率の高い今なら過半数以上の議席を取れるという計算が自民党にある。そうなれば、安倍政権は衆参のねじれもなく、最低でも3年間、国政を仕切れることになります。憲法改正はその間にゆっくりやればいいと首相は考えているのでしょう。

油断は禁物です。最後に朝日の「天声人語」の記事を紹介したいと思います。

なるほどと思った。先日の本紙「声」欄（東京本社版など）だ。一度だけ魔法が使えらるとしたら何をしたいか。小学生同士で話していたら、ある子が言った。「魔法使いにさせて下さいと言って魔法使いになる」▼それがかなえば魔法は使い放題。なんでもできる。一同、「すごい」と盛り上がった。これは憲法96条の改正と同じでは、というのが投稿した方の見立てだ。改憲の発議の要件をまず緩めるとい主張の危うさを鋭く突いている▼試合に勝てないから、ゲームのルールを自分に有利なように変えるようなもの。何に使うか分からないが、とにかく拳銃をくれ、と言うようなもの・・・